

わくわくサマーキャンプ 2016 in滋賀県

平成28年度 こどもゆめ基金助成事業 活動報告書

活動日：平成28年8月22・23日



主催：NPO法人ヴィエントとよの
後援：豊能町教育委員会

はじめに

最近の社会環境を観察していると「自分さえよければ良い！」というような大人が増えているからか、同様な青少年も増えてきているように感じています。本プログラムを体験することにより多くの方に支えられていることに気づき、自らが進んで支える立場になれる青少年育成の一助としたい。

【目的①】仲間との協働作業による「協調性」を養う

【目的②】親と離れた環境で「自立性」を高める

【目的③】日常から離れることで保護者に対する「感謝の心」を養う

【目的④】課題やテーマを解決・達成することによる「達成感」や「満足感」を味わう

概要

活動名： わくわくサマーキャンプ2016

趣 旨： 青少年育成の健全育成を目的として開催

内 容： 「ウォークラリー」「テント張り体験」「自炊」「キャンプファイヤー」
「遊泳」「ラフティング」

日 程： 平成28年8月22・23日(木)

活動場所： 滋賀県〔グリム冒険の森、瀬田川〕

参加者： 豊能町・箕面市とどろみ地域の「小・中学生」

参加費： ひとり 13,000円

スタッフ： 【指導者】高見 紘司氏、児島 弘樹氏、橋本 謙司
【補助】田畑 光謙氏

行程

【22日】

- ・ウォークラリー
- ・テント張り体験
- ・自炊
- ・キャンプファイヤー

【23日】

- ・遊泳
- ・ラフティング

実施状況

参加者： [こども]18名

活動風景【8月22日】



活動風景【8月23日】



終 わ り に

今回のわくわくサマーキャンプ2016において、当初の目的は概ね達成できたと感じています。

地域や世代が違う青少年達が、和気藹々とした雰囲気の中で2日間過ごしてくれました。自らが今、何をすべきかを考えながら少しずつ行動できるように少しずつ変わってくれたように思います。

親から離れて自然の中で2日間過ごしたことで日常への感謝、保護者への感謝を再認識してくれたと思います。また、プログラムの中でも仲間と協力する場面が多く、仲間の大切さ、協働の難しさを感じてもらい良い経験ができたと感じております。

最後になりましたが、青少年育成・地域コミュニティの形成に深いご理解をいただきご支援いただきました「独立行政法人 国立青少年教育振興機構」様に心より感謝申し上げます。

編 集 後 記

今回は、法人として初めてのサマーキャンプでしたが、参加いただいた子供たちは、サマーキャンプを通じて、色々なことに気づいてくれたと感じています。NPO法人ヴィエントとよのは、今後も地域の皆様とともに成長してまいりますので、今後ご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

発 行 NPO法人ヴィエントとよの

〒563-0214 大阪府豊能郡豊能町希望ヶ丘5-3-7

TEL・FAX:072-739-2899

Mail: viento@maia.eonet.ne.jp

H P: <http://www.npo-viento.or.jp/>

平成28年9月21日